



『未来のインフラメンテナンス～地震・水災害からまちを守る～』

主催:公益社団法人土木学会中部支部

共催:名城大学自然災害リスク軽減研究センター

令和3年3月4日(木)13:00～16:30 名城大学からライブ配信:視聴URLは2月下旬に支部HP等でお知らせいたします

■プログラム

13:00 ～ 13:05 主催者代表挨拶 土木学会中部支部長 堀田 治(中部地方整備局局長)

13:05 ～ 14:10(65分) 特別企画第1部 「最先端ロボット工学と土木工学がまちの未来を切り開く」

進行:小高猛司(名城大学自然災害リスク軽減研究センター センター長)

【講演①】 「最近のロボット技術とインフラ構築への応用」

福田敏男(名城大学教授・IEEE 前会長)

講師紹介: ロボット工学の世界的権威であり、自己組織化ロボット、マイクロ・ナノロボット、ニューロ・ファジィ制御、指やマニピュレータの制御、知能化ロボットシステム研究の世界的な先駆者。

160カ国から約42万人の会員を擁する世界最大の電気・電子関係の専門家組織であるIEEE(米国電気電子工学協会)の2020年会長(米国人以外からは2人目、アジア人として初)。

2010年IEEEロボティクス・オートメーション賞、2013年度文部科学大臣賞、2015年秋の紫綬褒章、2019年中日文化賞など受賞多数。

JSTムーンショット型研究開発事業 目標3「2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現」

構想ディレクター(PD)

名古屋大学名誉教授

講演概要: 最近のロボット技術の進歩に伴い、ロボットも産業ロボットとしての製造業以外に各種の医療、介護、搬送、食品、家庭等の分野のサービスロボットやフィールドロボットとして各方面で試験、実証、実用的に使われるようになってきた。建設ロボットも、従来からいろいろ研究開発がなされてきた。こうしたロボット技術の従来の研究開発状況を述べ、ロボットのインフラ点検への応用や将来のインフラ構築への応用について講演する。



【講演②】 「鋼橋の耐震・制震技術の進展」

葛 漢彬(名城大学教授・自然災害リスク軽減研究センター副センター長)

講演概要: 複雑な鋼橋の耐震性能を照査する手法の1つとして、ひずみ照査法(応答ひずみを終局ひずみと比較する方法)が簡便性と汎用性から多用されてきている。また、耐震性を向上する方法の1つとして、構造制震化(BRBなどの制震ダンパーを導入する工法)が優れた制震効果と経済性から脚光を浴びてきている。本講演で、ひずみ照査法の改善点とその精度に関する検討結果を述べるとともに、いくつかの高性能制震ダンパーの開発状況についても述べる。



【トークセッション】 講演の後、司会進行を交えてトークセッションを予定。

14:20～16:20(120分) 特別企画第2部 「地形・地域特性による水災害現象の違いと、それを踏まえた水災害への備え」

本企画では、河道で起きている現象や災害の特徴、現状の備えを把握することで、日頃の河道の管理や避難誘導等の備えを様々な立場から考える機会となることを期待している。そのために、河川で起きている現象や最近の被災状況などに関する講演後、自治体および研究者によるパネルディスカッションを実施する。限られた時間ではあるが、この地での備えや近年多発している水害現象の特徴、水災害の備えに必要な視点、自治体の取り組みの共有、避難をより効率的に考えるための研究の在り方などについて議論する。

千曲川の破堤付近の写真(2019年10月ドローンにより上空から名城大藤井氏が撮影)



【講演①】 「河川の特徴と変遷、河道で起きている現象 ～河川地形と被災」

溝口敦子 名城大学 社会基盤デザイン工学科 教授、東北大学 災害科学国際研究所 教授(大学間人事交流協定による兼職)

【講演②】 「近年の水害の特徴や、これからの水害時の警戒・呼びかけについて」

久保宜之 国土交通省 河川保全企画室 企画専門官

【パネルディスカッション】 (テーマ):「現象および地域特性を踏まえた備え」

パネリスト(予定)

溝口敦子 名城大学 社会基盤デザイン工学科 教授

久保宜之 国土交通省 河川保全企画室 企画専門官

臼田文昭 中部地方整備局 河川部 水災害対策センター長

向井利明 名古屋地方気象台 気象防災情報調整官

川上 学 長野県 河川課 企画幹

高倉俊夫 名古屋市 防災危機管理局 危機管理企画室 室長

■ご 案 内: 土木学会中部支部研究発表会は、土木工学や土木技術等に関する研究や成果を発表することにより、会員間の有益な情報を交換する場として毎年開催しています。令和2年度土木学会中部支部研究発表会は、名城大学天白キャンパスを大会開催会場として予定していましたが、新型コロナウイルス感染症防止対策と、参加者および実行委員会等関係者の安全の観点から研究発表会はこの会場を使用せず、3月1日～5日までオンライン形式で開催いたします。オンライン開催のメリットを生かし3月4日午後名城大学発信の特別企画として「未来のインフラメンテナンス～地震・水災害からまちを守る～」のライブ配信をすることとなりました。この企画につきましては聴講無料(自由参加・事前登録等必要なし)となっております。是非とも、聴講ください。

■主 催: 公益社団法人土木学会中部支部

■共 催: 名城大学自然災害リスク軽減研究センター

■開 催 日: 令和3年3月4日(木)13:00～16:30

■開 催 方 法: オンライン(YouTube(予定))

※注意事項: 動画のスクリーンショット・録音・録画・二次利用等は禁止いたします

■視 聴 URL: 2月中旬に土木学会中部支部ホームページ(<https://jsce-chubu.jp/>)や土木学会中部支部メールマガジンでお知らせいたします、令和2年度土木学会中部支部研究発表会講演者、関係者には Confit 大会サイトから案内メールを配信予定です。

■参 加 料: 無料

■定 員: 定員は設けておりません。事前申し込みも不要です。時間になりましたら視聴 URL からご聴講ください。

■問 合 せ 先: 公益社団法人 土木学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄 2-9-26 ポーラ名古屋ビル 8F

TEL: 052-222-3705

E-mail: jsce758@quartz.ocn.ne.jp

URL: <https://jsce-chubu.jp/>

○本講座の詳細、最新情報については土木学会中部支部ホームページ(<https://jsce-chubu.jp/>)にてご確認ください。

○本行事は土木学会認定 CPD プログラムではございません。

○プログラムおよび講師等については変更する場合があります。

○災害、異常気象等によって本行事の開催が危ぶまれる場合は、実施の可否を中部支部で判断します。

○本行事の実施または中止については、土木学会中部支部ホームページ(<https://jsce-chubu.jp/>)において速やかに周知します。

○令和2年度土木学会中部支部研究発表会一般の閲覧(講演概要集 WEB サイトのアクセス権(¥4,000 概要集のダウンロード可))については令和2年度土木学会中部支部研究発表会大会サイト(Confit ログインページ <https://jscechubu.confite.atlas.jp/login>)にて Confit アカウント取得の上、会員認証画面で『非会員として登録』を選択、次画面で『聴講者』を選択いただき、申込手続きを進めてください。3月5日(金)15時までお申込みいただけます。